

## &lt;別紙1&gt;

## 第三者評価結果報告書

## ①第三者評価機関名

株式会社 R-CORPORATION

## ②施設・事業所情報

名称：とつかルーテル保育園	種別：認可保育所			
代表者氏名：松川 和義	定員（利用人数）：240名（220名）			
所在地：〒244-0817 横浜市戸塚区吉田町100-4				
TEL：045-862-3086	ホームページ： <a href="https://ikusosu.jp/totsuka">https://ikusosu.jp/totsuka</a>			
【施設・事業所の概要】				
開設年月日：2005年4月1日				
経営法人・設置主体（法人名等）：社会福祉法人イクソス会				
職員数	常勤職員：59名	非常勤職員：6名		
専門職員	（専門職の名称）	名		
	保育士	46名	看護師	1名
	管理栄養士	2名	栄養士	4名
	調理師	1名		
施設・設備の概要	（居室数）		（設備等）	
	保育室		遊戯室	
	乳児室		一時保育室	
			調理室	
			調乳室	
			事務室	
			便所	
			職員休憩室	
		屋外遊戯場		

## ③理念・基本方針

## &lt;理念&gt;

● キリスト教の理念に基づき多様な福祉サービスがその利用者の意向を尊重し、総合的に提供されるよう創意工夫をすることにより、利用者が個人の尊厳を保持しつつ心身ともに健やかに育成されるよう支援することを目的とする。

● 「人にしてもらいたいと思うことは何でも、あなたがたも人にしなさい。」

## &lt;基本方針&gt;

● ユネスコが提唱した「生涯教育」を念頭において、『誕生から学齢期までの一貫教育』を意図しています。更に児童憲章とキリスト教精神を基にして保育所保育指針、モンテッソーリ幼児教育を以て当園独自の保育を勧めています。

## &lt;保育理念&gt; ～イクソス会が大切にしていること～

● 私たちは、モンテッソーリ教育とキリスト教教育を軸にした保育を行っています。

一人ひとりの園児と向き合い 子どもたちの自主性・個性を尊重します。

#### ④施設・事業所の特徴的な取組

●とつかルーテル保育園は、社会福祉法人イクソス会（以下、法人という）が待機児童解消の目的を含めて2005年4月に新設した保育園です。開設当初の定員は120名（内、乳児定員は28名）でしたが、さらに、待機児童解消に向け、2009年4月に園舎の増築を行い、定員を240名（内、乳児定員は60名）に倍増し、現在に至っています。とつかルーテル保育園は、駅から比較的近く、便利な場所に位置しており、戸塚駅の東側は住宅地としての開発が進んでおり、明治学院大学のある上倉田地域はバスのアクセスの良さで1戸建てを中心とした住宅地として発展しています。近隣には公園が点在し、少し足を延ばせば舞岡公園もあります。とつかルーテル保育園は、大きな園庭を有し、園舎内も空間を広く設け、開放感溢れる保育園です。キリスト教保育をベースに、モンテッソーリ教育を柱として、一人ひとりの子どもたちに質の高い生活支援をすべく日々の保育を実践しています。

#### ⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	2019年 12月 9日（契約日）～ 2020年 5月 20日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	2回（2014年度）

#### ⑥総評

◇特に評価の高い点

##### 1. 【キリスト教教育の推進】

●とつかルーテル保育園の保育の特徴としてキリスト教教育があります。キリスト教教育は、園運営の原点であり保育を実践する上での指針になっています。「何事でも人々からしてほしいと望むことは、人々にもその通りにせよ。」（新約聖書マタイによる福音書7章12節）イエス・キリストの教えを、朝の祈り、食事の祈り、帰りの祈りを毎日行っています。朝の祈りは、3歳～5歳児はチャペルで燭台に灯されるローソクを前に子どもたちは胸に手を当て讃美歌を歌い、お祈りをします。お祈りをする子どもたちの姿、顔はとても厳かです。1歳児、2歳児は各保育室でサークル（ミニ礼拝式）を行っています。職員は、今日1日子どもたちに実りある保育が行えることを祈り、キリスト教の教えに沿って保育が行われていきます。

##### 2. 【モンテッソーリ教育の推進】

●モンテッソーリ教育の基本は、「障害の有無にかかわらず、全ての子どもは自ら成長していく力（自己教育力）を持っている」です。そして、個別活動として発達段階に応じた教具（環境構成）によって行われています。具体的にはカリキュラムに従って用意された各種教具（既成の物、職員の手作りのもの等）に触れ、幼児の持つ自発的で創造的な関心を段階的に引き出し、教具への集中を通して秩序ある基本動作を促し、教育を行っています。ルーテル全保育園でモンテッソーリ教育のカリキュラムに「日常生活の練習」（#1～#28）、「感覚教育」（#1～#43）、「言語教育」（#1～#42）、「数教育」（#1～#35）を設け、各#1から年齢別にカリキュラムのナンバーが順番に割り振られており、順に覚えていくことを基本として「全体的な計画」の附表として展開しています。

##### 3. 【他各種の幅広い教育の推進】

●その他の取り組みとして、3歳以上児の「国際の時間」、「音楽の時間」、4歳、5歳児での「絵画の時間」・「体操」に取り組んでいます。国際の時間では、昨今、国

際交流の波に覆われており、英語を学ぶことのみではなく、日本人以外の人々と幼少期から交わることが国際感覚の始まりになることを踏まえ、園では、「体を使って学ぶ英語」とし、身近に国際感覚豊かな講師と接する時間を設けています。絵画の時間は、多摩美術大大学院OBの先生を招聘して絵画の指導を仰ぎ、子どもたちの創造力の芽を育み、上手に絵を描くことより子どもの持つ感性を伸ばしながら、子ども一人ひとりが持っている力を育むよう展開しています。「音楽の時間」は各保育室にピアノを設置し、職員が弾くピアノの音色に合わせて歌ったり、体を動かして音楽に親しみ、子どもの創造力や表現力を育てています。「体操」ではスイミングクラブのトレーナーからコーディネーショントレーニングを受けています。園では、職員以外の大人と交流を持ちながら世の中を幅広く視野を広げられる育成に努めています。

◇改善を求められる点

1. 【次期幹部職員の育成について】

●保育サービスは毎年2桁成長を続けており、過剰すぎるほどに需要のある現在、施設やサービスの内容も従来までの保育とは異なる全く新しい形態として登場し、保育関連の求人数はこれまで類をみない程に急増してきています。少子化という1つの現象の解決のためには、子どもに対してのケアだけでなくその保護者となる人たちへのサービス提供や、教育システムの充実といった別の側面からのアプローチが求められているということにもなります。職員の人材確保については、とつかルーテル保育園のみではなく、法人系列保育園全体としても採用・育成に苦慮し、職員動向については主任クラスが手薄であることを鑑みます。職員の補充は急務ですが、全園の体制を維持するためには園長の存在は重要であり、主任クラスからの昇格を考えて実施すると、実務の核である主任が不足する体制にあります。キャリアアップの制度を最大限有効活用し、早期に次期幹部職員の育成に努めていかれることを期待いたします。

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

施設名： とつかルーテル保育園

施設長： 松川 和義

<評価に取り組んだ感想>

前回5年前に第三者評価を受審した時には、206家庭中107通の利用者アンケートの回収があり、51.9パーセントの回収率でした。今回は、186家庭中126通の回収があり、68パーセントの回収率となった。回収率が上がったということで、前回よりもより多くの保護者からのご意見を聞ける機会となった。

細かなところは今後の課題となる部分を見つけることができるが、保育園の総合評価としては、「満足」「どちらかといえば満足」を合わせるとわずかにではあるが、前回は上回ることができた。また前回0.9パーセントの「不満」という判断をいただいていたが、今回は「不満」という判断が0パーセントになった。記述のアンケートに感謝の言葉をいただけて、よかったと感じている。

この結果に自分たちの保育が認められたということを誇りに持ちます。それと同時に、さらに子ども達のための働きを模索しながら、その時に必要なことを子ども達に届けることを第一に考えて、力を合わせて運営する。

日々子ども達笑顔が、私たちのやる気を呼び起こし、苦労を希望へと変えてくれる。

子ども達の大切な時にかかわれることを感謝する。

<評価後取り組んだ事として>

1. 法人のホームページを利用して、情報提供。
2. 次の世代の育成。

⑧第三者評価結果  
別紙2のとおり